# 『みんなでふるさとを応援しよう』

Vol.36

東京旭川会 会報 なずなまど

第36号：平成28年（2016）3月30日発行
発　行：東京旭川会　〒234-0053
神奈川県横浜市港南区日野中央2丁目19-17（西谷内力世）
TEL／FAX：045-843-7673
編　集：東京旭川会広報部会

＊【予告】本年度（平成28年）第40回の総会・懇親会は、10月29日（土）午後5時からの予定です。

## 第39回東京旭川会総会・懇親会のご報告

2015年10月24日（土）「第39回東京旭川会　総会・懇親会・懇談会」がハイアット・リージェンシー東京で開催されました。出席者は、大幅増の161人でした。

**【特別対談】**今年は、NHK大相撲解説でおなじみの元横綱・北の富士さんとテレビの解説・コメントでご活躍の学習院大学・特別客員教授の岩田公雄さんに対談して頂いた。多数の聴衆に会場は超満員だった。（詳細は4～5ページをご参照）

**【総会】**午後6時、司会の横田茂副会長の紹介で、高橋照美会長が議長となり、「平成二十六年度事業報告並びに決算報告の件」及び「会計監査報告」（第1号議案）、「平成二十七年度事業計画並びに予算案の件」（第2号議案）が西谷内事務局長により説明され、大きな拍手を持って原案どおり可決・承認され、総会は滞りなく終了した。

**【懇親会】**今年は、朝妻久実さんと柿坂沙庸理さんの2名の司会でスタート。ご出席の来賓の紹介があり、高橋会長の開会の挨拶のあと、西川将人旭川市長よりご挨拶を頂いた。更に那須秀昭旭川市税務部次長から「ふるさと納税」、白鳥隆志あさひかわ農業協同組合代表理事組合長から「旭川のお米」についての説明と協力の依頼があった。

続いて塩尻伸司旭川市議会議長のご発声のもと旭川市と東京旭川会の益々の発展を祈念して乾杯。中央テーブルには、旬の食材を活かした豪華な料理が並び、恒例の旭川ラーメン屋台コーナーは大人気。参加者は、昨年に引き続き地域別に分けられた9つのテーブルに集まり、お酒を飲み交わし料理を楽しんで交流が進んだ。

程なく若手の交流会ハレロイ会のメンバーによる初めての企画・演出で旭川出身の3名の若手ミュージシャンのミニライブが始まり会場の雰囲気は否応なしに一層盛りあがった。

会場の入り口には、壁新聞が設置され、大勢の方が集まっていた。今年の壁新聞は、掲示場所を総会開始の前後で移動するなど一層の工夫が払われ、特別対談の主役、北の富士さんと岩田さんのエピソード、この1年間の旭川市のトピックスや東京旭川会の活動などが紹介されていて参加者の興味を惹きつけた。

グループごとの集合写真や恒例の大抽選会などであっという間の2時間を大いに楽しんでいただいた。午後8時、中川竹志旭川観光コンベンション協会副会長の発声による関東一本締めと加藤桂子副会長のお礼の挨拶をもって閉会となった。

西川旭川市長はじめ、協賛企業他来賓のみなさまを含めて百六十一名という多数の参加を得て、盛況の内に終了し、参加者は協賛企業の特産品が詰まったお土産袋をもって帰途についた。（当会ホームページライブラリー欄に多数の写真を掲載していますのでご覧ください。）

▲❶ご来賓の入場とご紹介　❷旭川市長・西川将人氏　❸旭川市議会議長・塩尻伸司氏　❹旭川観光コンベンション協会副会長・中川竹志氏　❺あさひかわ農業協同組合代表理事組合長・白鳥隆志氏　❻高橋照美会長　❼西谷内力世副会長兼事務局長　❽横田茂副会長　❾加藤桂子副会長

### 高橋照美 会長からのメッセージ　東京旭川会が目指すもの

東京旭川会は会員の親睦をはかるため「散歩を楽しむ会」で、両国界隈を歩き、旭川出身の二人の力士が所属する八角部屋を訪ねました。また、富士周辺世界遺産見学をテーマにして、日帰りバス旅行を行ないましたが、秋は好天に恵まれ十七名の参加でした。総会の前に行なった講演会では、北の富士さんと岩田公雄さんの特別対談とあって百人を超える参加者があり、盛会でした。

また、旭川にゆかりのあるアスリートの応援をしました。スノーボードワールドカップ旭川大会では竹内智香選手に会員の寄せ書き入りの日の丸の旗を手渡しました。友綱部屋の朝稽古に出向いて旭川出身の旭大星を激励しました。

また、旭川の産業や産品の宣伝に務めました。旭川物産協会が「江東区民まつり」に出店した際や、新宿の「アンテナショップ」の記念イベントでは「きずなメール」を利用してできるだけ多くの人に参加していただくよう働きかけをしました。

旭川市では、昨年「旭川市総合計画」の十三の「基本政策」において、具体的な施策が設定されましたが東京旭川会としては「スポーツ、レクリエーションの振興」「地域産業の持続的発展」等の施策に関して応援できるところがあるように思います。何を、どのようにすればお役に立てるか、考えていきたいと思います。

# 第39回 懇親会 弾む会話と弾ける笑顔！

昨年に引き続き、出席者は来賓、出身小中学校別、地域別の9つのグループに集まっていただき、どこのグループでも会話が弾んでいました。

後半は自由に交流し、北の富士さんや岩田公雄さんや、久し振りに顔を合わせた方々とお話したり記念写真を撮ったりと賑やかでした。抽選会では来賓の方々が引いた当選番号が読み上げられる度に歓声が上がり大いに盛り上がりました。

▲開場前の「壁新聞」を熱心に読む会員。「特別対談」や旭川の話題、若者達の活躍など…盛りだくさん。

▲あちこちのテーブルで料理とお酒を楽しみながら皆さんニコニコ顔で会話が弾み、会場全体に交流の輪が広がった。

▲会場を順次回っていただいた和服姿の北の富士さん。ここでは同じく華やかな和服の華やかな女性たちに囲まれてパチリ。

## 1

神楽小、神居小、青雲小、日章小、旭川第三小、大有小、新町小、西神楽小、旭川小、神楽中、神居中、聖園中、東明中、西神楽中。グループリーダーは荒川繁幹事。「第1Gは13名。話題は聖園、北都、常盤中の併合で何故常盤だけ残ったか？でした」（4月中央中として開校）

## 2

北鎮小、春光小、大有小、大町小、北光小、近文第一小、北星中、六合中、北門中。グループリーダーは大場孝仁幹事。「南高卒業者の新会員2名を含め、21名の大所帯で和気あいあい、再会を約束しました」

## 3

中央小、日章小、向陵小、常盤中、明星中、鷹栖中（常盤中は昨年4月に三校併合で中央中となった）。グループリーダーは高木宏明幹事。「年代を超えてお互い知らなかった人たちの間で地元の昔話に花が咲きました」

## 4

東五条小、正和小、新富小、大有小、明星中。グループリーダーは山口哲男幹事。「顔なじみが多く昔話に話が弾みました。来賓テーブルが隣で、来賓の方ともお話しができ良かった」

## 高橋会長の旭川観光大使委嘱状授与式

西川旭川市長より高橋照美東京旭川会会長に旭川観光大使の委嘱状が授与されました。

西川市長からは、講演の中で観光大使について触れ、高橋会長には東京旭川会会長としての重責を担っていただきありがとうございます。今後とも旭川市発展のためにご尽力いただきたいとのご発言がありました。

## 旭川市出身ミュージシャンによるミニライブ

▲ステージで熱唱する左から長谷川大さん、旭川観光大使でもある宮澤篤司さん、そして川口翼さん。3人がどこまで飛翔していくかを注目していきましょう。

今回の東京旭川会のイベントは旭川出身若手ミュージシャンによるライブステージが企画されました。出演は旭川市観光大使でボーカリストの宮澤篤司さん、作詞、作曲家でミュージックプロデュー

## 来賓

▲来賓・観光大使席では「特別対談」の主役 北の富士さんと岩田公雄さん、旭川市長はじめ旭川からのご来賓、協賛企業の方々で話が弾んだようです。

◀札を引く岩田公雄さんも大忙し。当選番号が読み上げられる度に歓声が上がる。抽選会は大いに盛り上がった。

▶毎年恒例の旭川ラーメンコーナー。皆さんが列を作って熱くておいしい懐かしい故郷の味を思い出した。

▲料理台にはホテル自慢の料理と郷土品コーナーではカボチャとジャガイモ料理や旭川産のリンゴのデザートや用意され、大勢の方が堪能した。

**5**

日新小、大成小、朝日小、豊岡小、近文第四小、旭川中、北都中、東鷹栖中。グループリーダーは小松仁志幹事。「市内の比較的中心部出身者のグループで、離れて長い故郷の今昔に話が弾みました」

**6**

啓明小、朝日小、東町小、当麻小、千代田小、愛宕小、光陽中、東光中。グループリーダーは高島芳美幹事。「それぞれの母校の同級生・先輩・後輩・同級生の共通話題で、場が一層盛り上がりました」

**7**

東川、東神楽、当麻、東鷹栖、愛別、比布、上川などの旭川市の周辺町ご出身の方々。グループリーダーは安井規雄監事。「旭川市周辺の町の出身者が集まった。外から見ていた旭川市の思い出を語り合った」

**8**

江丹別、鷹栖、東鷹栖、雨紛、富良野、及び道内各地、道外ご出身者の方々。グループリーダーは澤田研二幹事。「ほとんどが市外の人。旭川会でこその出会い。貴重な情報交換の場となり盛り上がった」

## 旭川産の映画が全国公開

▲本当にありがとうございました。

【御礼】旭川産映画「ホコリと幻想」は、企画から3年の時間がかかりましたが、2015年9月12日、地元のディノスシネマ旭川での公開を皮切りに、東京のヒューマントラストシネマ渋谷など11館で公開することができました。これも旭川市の関係各位及び東京旭川会の皆様のご支援の賜物と感謝いたします。

内容的には賛否のある作品でしたが、何かを残すことができたと思っています。3月2日にはDVDがリリースされます。本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願い致します。

（監督　鈴木聖史）

▲会場でも販売された宮澤篤司さん、川口翼さんのCDアルバム。新しいアルバムもお楽しみに。

サーの長谷川大さん、そしてシンガーソングライターの川口翼さんの3名。彼らのオリジナル曲を含め熱いステージを展開してくれました。ありがとうございました。

新しいアルバムも作成中とのことで、これからの活躍が一層楽しみです。そして、東京旭川会として応援を続けたいと思います。

特別対談

# 北の富士さん 岩田公雄さん 『だから大相撲はおもしろい』

《主催者側からのお断り》北の富士さんと岩田公雄さんには、一時間にわたりいろいろな角度から笑いの絶えない楽しい対談をしていただきました。本当にありがとうございました。誌面の都合上、ポイントのみで省略せざるを得ない部分もあります。ご了承いただけましたら幸いです。

▶出席希望者が多く、座席を126席まで増やしました。皆さん終始集中して聞いておられました。

## 子どものころの話から

**司会・朝比奈**：本日はお忙しい中ありがとうございます。それにしてもすごい人数ですね。お二人には先ずは、子供時分の話からお聞きしたいと思います。北の富士さんは、留萌市からお父様のお仕事の関係で旭川に移り、光陽中学校に転校されました。皆さんの中で、光陽中学校出身の方はいらっしゃいますか？（は～い、と8名位の手が上がる。その中の一人が立ち上がって直接やりとり、高瀬博さん）僕はあなたとクラスは違ったけど同級生だったよ。先生は大道先生だったよね。

**北の富士さん**：僕は大道先生の名前だけは覚えています。皆さんは昭和32年3月卒業でしょうけれど、僕は1月に新弟子検査で東京に出ましたのでそこまでした。その頃、僕は留萌から来たゴリラって言われていましたね。それから、大人になってからだけれど中学の同窓会にも行ったことがありましたね。

（高瀬さん）行った、一緒に行った。

**司会**：いいですね。こういう昔話ができる所も東京旭川会らしくていいですね。同級生同士で後ほどたっぷりお話してください。ところで、皆さんも同じだと思いますが、国技館の館内放送で「横綱北の富士　北海道旭川市出身」と放送されるとすごく誇らしい気持ちになったものです。北の富士さん、短期間しかいなかった旭川市を出身地としていただいてありがとうございます。（会場は拍手）

**北の富士**：あの頃の方が旭川観光大使の役割をほたしていたかもしれませんね（笑）。僕が旭川に住んだのは短かったけれど両親が旭川市に住むことを決めていたから出身地にしたんです。

**司会**：それでは、私たちは北の富士さんのご両親に感謝しなければなりませんね。ありがたいことです。

**北の富士**：しかし、留萌からはめちゃめちゃ怒られましたね。（会場、爆笑）

▲山吹色の着物姿で現れた時は、会場からどよめきがおきるほど。終始にこやかに話をされ、会場は笑いが絶えません。時には拍手と爆笑が誘い出されていました。

**司会**：一方、岩田さんは旭川市生まれですが、子供の頃は道内をあちこち経験されていたようですね。

**岩田**：父が警察署長をしていた関係で、6歳くらいから美深、厚岸、本別、美幌そして森町で高校を卒業しました。ですので、私はシティーボーイじゃなくてほとんど風雪流れ旅のような感じでした（笑）。

**司会**：岩田さんもお身体が立派ですが、何かやられていましたか？

**岩田**：厚岸の時、神社の相撲大会に出されて、決勝で負けた相手がその後相撲界に入って、幕下まで行きましたね。

**北の富士**：岩田さんが相撲をちゃんとやっていたら横綱になっていたかもしれませんよ（笑）。

## 座右の銘は「生涯一記者」

**司会**：岩田さんの座右の銘は「生涯一記者」とのことですが、それはどこからきたものですか？

**岩田**：読売テレビのマニラ支局長時代に中国で「天安門事件」（1989年）がありまして、応援取材に行った際は生きるか死ぬかのすごい現場でした。その時に、できるだけ現場の取材を中心に「一記者」として仕事をしてみたいという気持ちになってからですね。

**司会**：今年から母校の学習院大学法学部の特別客員教授にご就任されたとのことです。おめでとうございます。それにしても、大阪でのテレビの生放送と大学教授の掛け持ちは大変ですね。

**岩田**：最初は気楽に考えていたのですが、大学では『政治とジャーナリズム』『世界の報道現場』『世界の時事英語』と3科目（講座）を持つことになって、めちゃ怒られましたよ（笑）。

## 北の富士勝昭さん　プロフィール

第52代横綱。NHK大相撲専属解説者。旭川観光大使。

昭和17（1942）年美幌町生まれ、留萌市で小中学校時代は野球選手。途中、旭川市立光陽中学校に転校。

昭和32（1957）出羽海部屋に入門。春場所初土俵。十両では、史上3人目の15戦全勝優勝。昭和39年（1964）初場所で13勝2敗の新入幕力士最多勝記録を打ち立てる。昭和41年（1966）大関昇進、千代の山の出羽海部屋からの独立に同行し、九重部屋へ移る。昭和45年（1970）三度目の優勝を経て、第52代横綱に昇進。十度の優勝（うち三度は全勝優勝）。

昭和49年（1974）引退。井筒を襲名。のちに、九重（千代の山）の逝去により、井筒部屋と九重部屋を合併継承し、九重親方となる。第58代横綱・千代の富士、第61代横綱・北勝海と二人の横綱を育て「常勝軍団」と呼ばれた。

現在、最新刊本がファンに話題。

▲平成24年4月13日、石川啄木生誕百年を記念してJR旭川駅構内に完成した歌碑像の除幕式に旭川観光大使の一人として参加していただきました。

▲『大放談!大相撲打ちあけ話』。北の富士さんの最新刊。抜群のおもしろさです。

## 岩田公雄さん　プロフィール

昭和24年（1949）6月旭川市生まれ。ジャーナリスト。学習院大学法学部特別客員教授。旭川観光大使。

1974年学習院大学卒業後、大阪の讀賣テレビに入社。報道記者に転身後、グリコ・森永事件や日本航空123便墜落事故など国内の重要事件・事故を担当。1987年にNNNマニラ初代支局長となる。1989年6月の中国・天安門事件の現場を取材。北朝鮮・平壌からの3日間連続生中継を初めて実現させるなど、様々な事件現場記者として活躍。

1992年からは情報番組「ウエークアップ」に解説委員としてレギュラー出演。以来、番組のメイン解説者として「ウエークアップ!ぷらす」や「情報ライブ ミヤネ屋」に出演。2015年4月から母校・学習院大学法学部より要請のあった特別客員教授に就任。現在、3科目の講座を受け持っている。

▲旭川観光大使としていろいろな場面でご活躍。平成26年4月23日、旭川地域企業誘致　東京サテライトオフィスの開所式でご挨拶と乾杯の音頭をとられました。

▶平成27年4月、母校・学習院大学法学部の特別客員教授に就任された時の記念写真。

思っていた以上に時間がとられます。読売テレビは「ウエークアップ」を隔週に、「ミヤネ屋」は火曜日だけにしてもらっていますが、東京と大阪の往復は年間130往復くらいです。

▲「大横綱をインタヴューするのは緊張します」と言いつつ、にこやかに。

## 北の富士さんは若い！

**司会**：導入部の私の進行はこの辺にして、あとは岩田さんに進行をお願いしたいと思います。

**岩田**：壁新聞を背にして大横綱をインタヴューというのは、こちらも緊張しますが、私が北の富士さんと対談をすると周りに言うと、「どっちが年上なの」とよく聞かれます。みんな私の方が年上と勘違いするほど北の富士さんの方が若く見られています。その若さの秘訣はなんでしょうか？

**北の富士**：特別のことはやっていませんが、歩くことと週に3～4回ジムに行く程度です。私は現役時代132キロくらいがベストでした。今の力士の平均体重より20キロくらい少なかったけれど、それでも当時は大きい方でした。最初は新弟子検査に落ちるくらいに細かった。今の子は最初から太った子が多すぎる。稽古も足りないから怪我も多い。僕も稽古は足りないと言われていた方ですが、それでも一日百番くらいは取っていた。今の力士はよくて20番か30番くらいでしょうか。

**岩田**：相撲では、よく脇を締めなければと聞きますが。

**北の富士**：脇を締めないと押せないので、よく両脇に藁を挟んですり足をしたものです。僕は今でも左脇は相当固いですよ。しかし、ゴルフになると、こうなって左脇が開いちゃうから不思議だよね。（その格好で、会場は爆笑）

## 思い出に残る名勝負

**岩田**：北の富士さんにとっての思い出に残る名勝負は何でしょうか？

**北の富士**：やはり、初代の関脇貴ノ花とのもつれた一戦でしょうか。（注：昭和47年、1972年1月場所8日目）当時の貴ノ花はとにかく体が柔らかくて、しかも強靭な足腰で、このまま倒れては貴ノ花の頭が危ないと、手をついたのが「かばい手」か「つき手」かで物言いがつき、結局勝ったけれど、貴ノ花ファンに囲まれて大変でした。あの時は、貴ノ花の頭も危なかったが、自分の顔も危なかったのでかばったのかもしれない。終わったら銀座に行くことになっていたので、「顔は大丈夫か」と支度部屋で新聞記者に聞いたら、そのまま書かれてしまったけどね。（会場は爆笑）

**岩田**：その一番は「やくみつる」さんも名勝負に上げていて、今はユーチューブでも見られるようになっています。（ぜひご覧ください）

## 引き際こそ横綱の〝美学〟

**岩田**：かつての弟子であった千代の富士が横綱になった時、贈ったはなむけの言葉が「辞める時は、スパッといこうな」というのは有名ですが。

**北の富士**：本人はびっくりしたと思うけど、横綱になると結構そういうことは言われるものです。それくらい横綱の引き際は大事だということですよ。僕の引退は昭和49年で、巨人の長嶋さんと同じ年でしたが、長嶋さんのように「巨人軍は永久に不滅です」とはいかないから、引退相撲の時は、白いタキシード姿でパーマをかけて、吹き込んだ歌を土俵上で歌って「サヨナラ」とやったら、理事長が苦虫をかみつぶしたような顔をしていましたね。（会場、爆笑）

**岩田**：ところで、今日も着物姿ですね。いつも粋だなと思っていますが…。

**北の富士**：32歳で引退して、それまでは着物しか着て来なかったので、洋服にあこがれていました。洋服も結構着ましたが、ある時着物を着てみたらその良さを再認識しましたね。現役のころはずいぶん作ってもらいました。いま自前で作ると結構高いですね。今日もどうしようかと思っていたら、この人（朝比奈）が着物だ、着物だと言うものだから仕方なく着てきました。ですので、別に「行き（粋）でも帰り」でもないんですよ。（会場は爆笑）

## 弟子運には恵まれた

**岩田**：親方としても二人の横綱を育てられました。すごいことですね…。

**北の富士**：僕は弟子運に恵まれただけです。千代の富士とは最初は弟子同士の関係でした。千代の山師匠が亡くなって、新九重部屋になった時から親方と弟子の関係になった。最初は投げにこだわり脱臼ばかりしていたが、ある時から相撲が変わった。左前みつを引きつけて一気に攻める相撲を身につけてから大横綱まで上りつめましたね。

北勝海は、柔道をやっていてまだ小さかった中学1年の時に部屋の札幌合宿の時に連れてこられた。中学3年になったらもう一度来なさいと、ちゃんこをご馳走して帰したが、中学3年になったらお父さんから「本人はあの時ちゃんこをご馳走してくれて、お小遣いをくれたおじさんの所へ行きたい」と言っていると電話が来た。有名高校の柔道部の誘いを断って部屋に来てくれました。あの小遣いが効いたね（笑）。北勝海は真面目で、相撲センスが良かったですね。横綱を二人も持てたのは運だけです。その二人にはずっとオレの真似だけはするなと言ってきましたけどね（笑）。

## ほめて育てる

**岩田**：よく教える時は我慢が必要だと言われますが、昔と今では教え方が違うものですか？

**北の富士**：昔は叩かれて育てられてきたけれど、今は叩かれない、何も言われないから体ばかり大きくなって。師匠も大変だと思いますよ。僕はテレビ解説ではボロクソに言ってますが、部屋を持っていた時はほめて育てたと思っています。お前はほめるのがうまいねとよく言われたものです。力士は大きくなったね、というと喜ぶんです。太ったねはダメなんです。ところで、朝比奈さんは太ったね。（会場は爆笑）

**岩田**：北の富士さんは、辛口トークとも言われますが、実に軽妙ですが。

**北の富士**：最近はどうしても小言が多くなってしまって。力士の中では遠くから僕を見つけるとす～っと逃げる力士もいます。僕も若い時はそういうこともありましたけれどね（笑）。

## 旭川出身力士の活躍を

**司会**：旭川出身力士の中で、昨年旭大星が、13年ぶりの北海道出身の関取になりました。一度幕下に落ちて再十両で頑張っていますが、北の富士さんから見ていかがでしょうか？

**北の富士**：今はまだ結構逃げる相撲が多いけれど、前に出る相撲になれば幕内に上がれると思いますよ。

**司会**：四股名が、旭川の旭に大きな星ですからこれ以上のしこ名はありませんね。体も大きくなりましたし、期待の星になってもらいたいものです。

**北の富士**：なれると思うよ。うちの八角部屋にも旭川出身は二人いる。（掛橋と中野）掛橋は小さいけれど楽しみだ。みんな頑張ってほしいね。

**岩田**：若い楽しみな旭川出身力士が出てきたのは嬉しいですね、みんなで盛り上げていきたいものですね。北の富士さんには、今後も大相撲解説では厳しくも愛情をもって解説をお願いいたします。しかし、大相撲もこのままではいけませんので、日本人力士の活躍を何とかしてもらいたいものです。

**北の富士**：日本人力士の優勝が出たらもっと盛り上がるはずなのでそう願っています。頑張ってほしいものです。

**司会**：本日はありがとうございました。

## 特別対談を終えて

司会　朝比奈康博
東京旭川会　相談役
旭川観光大使

ご来場いただいた会員の皆様には、旭川観光大使お二人の「特別対談」を喜んでいただけたようです。北の富士さんのユーモアたっぷりのお話に大いに笑っていただきました。企画した人間としてお二人と会員の皆様に改めて御礼を申し上げたいと思います。

一時間の対談で、このページに収まりきらないこともありました。お許しいただけましたら幸いでございます。

（初場所では北の富士さんや皆さんの願いが通じ、大関・琴奨菊が日本出身力士として10年ぶりの優勝を果たし、大いに盛り上がりました。）

## 旭川出身力士情報

▲旭川後援会の「あさっぴー」の化粧まわしを締め、十両土俵入りをする旭大星。

現在、旭川出身力士は3人います。その中で最上位は、春場所番付で十両・西14枚目の友綱部屋の旭大星。平成26年7月場所に北海道出身力士として13年ぶりの関取となって以来、まだなかなか成績は安定していませんが、北の富士さんのおっしゃる「前に出る相撲」を身につけ、改めて幕内を目指して頑張ってほしいものです。

八角部屋には、北の富士さんの孫弟子にあたる三段目・東20枚目の北勝川（掛橋改め）、序二段・東74枚目の北勝波（中野改め）の二人がおります。二人の頑張りにも期待しております。

（注：会報の制作日程の都合上、春場所の番付までしか掲載できません。）

# 旭川出身の「若い力」

## スポーツ　やり投げ北口選手

### 旭川東高　3年生北口選手が大活躍！2020年東京五輪での活躍が期待される

北口榛花選手は、本格的にやり投げを始めたのは高校入学から。ぐんぐん力をつけて2年生の高校総体と国体少年の部で優勝、昨年1月には2020年東京オリンピックにおいて特に活躍が期待される「ダイヤモンドアスリート」に認定。6月の日本選手権では成人選手の中で5位。7月に南米コロンビア開催の世界ユース選手権でも優勝し、国際的な大舞台での強さも示した。全国高校総体でも自己ベストで2連覇を達成。10月に行われた和歌山県での第七十回国民体育大会では大会新記録57M02で優勝。オリンピックでの活躍が期待される注目選手です。

▲北口選手はNHKの「めざせ!2020年のオリンピアン／パラリンピアン」(2015年12月8日 火)に登場。やり投げの日本選手権12連覇者で2009年世界選手権の日本初のメダル(銅)を獲得した村上幸史選手がコーチ。やり投げ女王の成長のカギ"考える"を探る。

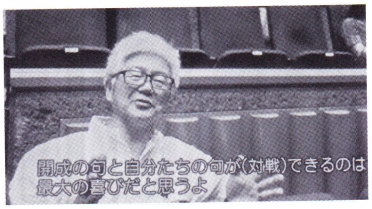
▲2015年7月コロンビアで開催された世界ユースで優勝した表彰台の北口選手

## 文化　俳句甲子園で旭川東高が準優勝！

### 名門開成高校の三連覇を阻止！

最多優勝記録を誘る開成高校を準決勝で破り、三連勝を阻止。優勝した名古屋高校とは大将戦まで闘って、惜しくも準優勝だったが、NHK・Eテレ放送での東高の取材時間は20分を超える圧勝劇。見るものを熱くするその努力と成果は素晴らしかった。旭川東高校・文芸部は旭川市文化奨励賞を受賞した。

▲NHK・Eテレの9月27日(日)1時間番組「静かなる激闘―俳句甲子園」の中では、旭川東高・文芸部の奮闘ぶりが取材され感動を呼んだ。




▲「開成の句と自分たちの句が対戦できるのは最大の喜びだと思うよ」。13年連続旭川東高を「俳句甲子園」に導いた顧問の太田成司先生。

## 書の甲子園　旭川西高が優勝

### 団体の部で悲願の初優勝！

顧問の宮岡仁先生は「先輩たちが築いてきた下地を洗練させた努力の結果」と喜ぶ。個人の部では、3年生の井上遥さんが文部科学大臣賞を受賞。

▲平日3時間、土日は自主練習として7時間活動し、年2回の合宿。「体全体を使って伸びやかに踊るように書く」が書道部の指導方針です。

## バスケット五輪切符

### 町田瑠唯選手が活躍

日本は、昨年リオ五輪予選兼アジア選手権の最終日で中国に85対50で圧勝。3大会ぶりの五輪出場を決めた。団体球技の日本勢では最初のリオ五輪切符獲得で、アジア選手権は2大会連続3度目の優勝。町田選手はインド戦で16アシストを記録するなど金メダル獲得に貢献しました。

▲町田選手は旭川緑ヶ丘中から札幌山の手高へ進学。現在は富士通の司令塔。

## 芸能　乃木坂46の橋本奈々未さんは旭川市出身

### アイドルの枠を越え幅広く活躍中！

旭川西高校を卒業後、東京の美術大学に進学し2011年8月21日に乃木坂46の一期生オーディションに合格。2015年3月にファッション誌「CANCAM」の専属モデルに起用され2015年8月には写真集「やさしい棘（幻冬舎）」を発売。写真集は一週間で2万部を越え、オリコン週間本ランキング写真集部門で第一位を獲得しています。愛称は〝ななみん〟。乃木坂46の人気メンバーの1人で、デビュー以来十四作連続で選抜メンバーに選ばれています。今年は北海道文化放送(UHB)の新番組「乃木坂46橋本奈々未の恋する文学」が2月18日から五週連続で北海道内のみでしたが放送されました。今後の活躍が楽しみです。

▲旭川の広報誌「あさひばし」2015年10月号にも紹介されました。

▲写真集「やさしい棘」の表紙。橋本さんの行きたい場所や着たい物等満載の一冊です。

## とにかく明るい安村さん旭川観光大使に！

### 「とにかく明るい安村」さんの旭川凱旋ステージに3万人が集まりました

昨年からテレビで見ない日はないくらいにブレークしている「とにかく明るい安村さん」。全裸に見えるポーズのあの方です。決め台詞の「安心してください。穿いてますよ」は2015年ユーキャン新語・流行語大賞のトップテンにも入りました。また最近では英語版も披露し英語圏でも人気急上昇中です。

その安村さんが「旭川観光大使」に任命され、2月6日に行われた第57回旭川冬まつりのオープニングセレモニーで委嘱状授与式が行われました。雪がちらつく氷点下5度の屋外ステージにいつものパンツ一丁の姿で登場した安村さんは得意のポーズも披露。身体を張った芸に会場も大いに盛り上がりました。今後の活躍が楽しみです。

▲西川旭川市長から観光大使の盾とたすきを手渡される安村さん。

▲冬まつりステージでの決めポーズ。旭川実業高校時代には夏の甲子園にも出場しています。

# 西川市長ミニ講演『旭川市の近況報告』

旭川市長
西川将人

北の富士さん、岩田公雄さんによる特別講演会後、西川将人旭川市長のミニ講演がありました。25年かけた旭川駅周辺再開発プロジェクトの象徴「あさひかわ北彩都ガーデン」が完成。大池には力も飛来し、冬は「歩くスキーコース」に。駅前にはスケートリンクができ、市民にも喜ばれている。

旧アサヒビル跡地を含むホテルの建設計画。日本初の歩行者天国として誕生した買物公園の旭川駅前から1条通をつなぐ歩行者用屋根キャノピーの整備工事化等の観光活性策の話しに続き、毎年千人単位で減り続けている少子化の対応策として企業の誘致による雇用創出、旭川の強みである農業による食品事業のさらなる充実等、今年度からの総合計画にも触れながら幅広くご説明をいただきました。

▲夜間照明の駅前スケートリンク。「大きい靴も置いてありますか?」の北の富士さんの市長への質問に講演会場はどっと沸く。

## 食べマルシェ125万人!

旭川市中心部で9月19日から5日間開かれた道北最大の食のイベント「北の恵み　食べマルシェ」の来場者は、過去最大の125万人となった。出展者も過去最多の345店。道北の38市町村、旭川市とのつながりの深い道外からも多数出店。東京からも「東京の旭川応援団」の店が出店した。

▲木場と門前仲町の中間にある「一穂(いっすい)」は、「食べマルシェ」には店を休みにして三度も応援出店し、旭川市民に"深川めし"を提供したとのことです。☎:03-3643-2255

## 「第33回江東区民まつり」に旭川市から参加しています

▲都立木場公園内で開催された「第33回江東区民まつり」の「はるばるバザール」に旭川物産協会も出店。旭川物産を販売・PR。

▲写真左は「東京の旭川応援団」団長と自他ともに認められる大山敏博店主です。江戸三大祭りのひとつ「深川祭」の総代を務める地元の名士。北の富士さんとの事前打ち合わせの席で。

# 東京旭川会の活動を報告します

東京旭川会では会員相互の懇親を深めることを目的に様々な活動を行っています。昨年は5月の散歩の会から始まって6月のバス旅行、残念ながら春の開催は悪天候で中止になりましたが11月のゴルフ親睦会などを行ってきています。またハレロイ会では旭川会の若手が集まりにぎやかに懇親を深めています。

皆様の参加大歓迎ですのでお気軽にどうぞ。お問い合わせは事務局まで

## 散歩を楽しむ会

昨年は、5月9日土曜日に両国コースを幹事会員合わせ23名の参加者で実施しました。案内人は郷土史家の渡辺功一氏。資料を見ながらの詳しい解説が実に面白い。JR浅草橋駅から柳橋、両国橋、回向院、吉良邸跡など歴史をめぐるコースでした。散歩の後の打上げ会では相撲甚句が披露され拍手喝采。大いに盛り上がりお開きになりました。

▲散歩の途中では柳橋際の有名な佃煮屋さん小松屋さんのご主人からお話をお聞きしたり、八角部屋に立ち寄り旭川出身の若い力士掛橋、中野の二人と記念撮影も行いました。

## バス旅行

毎年恒例の郷土訪問の旅に替えて初めて日帰りバス旅行を6月17日に行いました。テーマは「富士周辺世界遺産見学」としました。様々な発見に出会い、新しい仲間と楽しいひと時をのんびり過ごし充実した思い出深い旅になりました。

▲車中では会長のご挨拶を皮切りに総勢23名の自己紹介に始まり参加者の会話がはずむ中11時に目的地に到着。忍野八海、富士山信仰を支えた御師の旧戸川家住宅、浅間茶屋昼食、北口本宮浅間神社を巡りました。写真は忍野八海での一枚です。

## ハレロイ会

東京旭川会の比較的若手のメンバーで年に数回集まって懇親(飲み会)をしています。メンバーは多彩。現在の登録者は30名強です。

▲11月27日、早めの忘年会を神田のジンギスカン店で開催。20代から50代まで集まり思いっきり食べまくりました。旭川好きな方大歓迎です!

## ゴルフ親睦会

11月30日武蔵OMGゴルフクラブにて第六回親睦ゴルフ会を開催。会員相互の親睦を深めました。

▲心配された天候にも恵まれ5組17名(内女性3名)の方が参加しました。ちょうど見ごろのもみじを鑑賞しながらの大変楽しい会となりました。今年度も開催を予定していますので、お誘い合せの上多数の方のご参加をお待ちしています。

## 東京旭川会のホームページをご覧ください

東京旭川会では、インターネットのホームページ(HP)を開設しています。HPは、パソコン以外に携帯電話やスマホでも閲覧することができます。「東京旭川会」と検索して、東京旭川会―県民.comを選ぶと見られます。また、右のQRコードを活用すると、より簡単にアクセスできます。会報『ななかまど』とは別に、HPでは、会の案内やお知らせ、活動報告、写真、トピックス、皆様の投稿等をタイムリーに載せています。HPを通じて広く情報発信しています。

# 第39回 東京旭川会総会・懇親会 出席者一覧（五十音順）

【出席者】❖は旭川観光大使の方です。（敬称略）

あ
浅沼 雄太
朝比奈 康博❖
朝妻 久実❖
阿部 功
阿部 百合子
荒川 繁
石井 拓磨
板岡 功雄
板倉 喬
今井 昭吉
今津 寛史
岩田 公雄❖
岩渕 勝美
植木 宏昌
上田 皓一
梅津 博司
浦木 勲
海老澤 美智子
遠藤 哲
大岡 ノリコ
大城 節子
大谷 真樹子
大友 勝美
大場 孝仁
岡崎 友典❖
岡田 篤彦
岡村 淳子
尾崎 千恵子
小田原 一史
小柳 弘子
柿坂 沙庸理
柿林 博司
片桐 紀恵
片脇 義正
加藤 桂子
加藤 文哉
加藤 祐司

か
金子 登
鎌野 早苗
川口 翼
川西 勲
神田 洋子
菊地 勝昭
木嵜 秀夫
木島 英人
北の富士勝昭❖
窪田 敬昭
小澤 直子
小松 仁志
五郎部 満
今野 勝信
金野 茂樹
近野 光佑
齋藤 弘明
酒井 典子
坂本 寿美雄
櫻井 悠
櫻庭 俊司
佐々木 茂雄
佐々木 隆博
佐々木 護
佐藤 みき
佐藤 素子
佐藤 安弘❖
佐藤 幸博
澤田 研二
澤田 三男
重國 麻也子
柴田 良成
島田 嘉明
白倉 伸也
杉本 一美
鈴木 聖史
鈴木 啓正

さ
瀬川 信幸
宗万 裕❖
高木 宏明
高島 芳美
高瀬 博
高橋 照美❖
高橋 文子
武田 彰宏
田中 富雄
田中 ひとみ
田中 松美
丹保 冬司夫
土田 哲郎
寺島 喜久男
冨田 康文
内藤 ひろみ
仲川 有
中島 慶章
中村 園子
那須 利雄
名畑 拓洋
並河 典子
西 俊輔
西谷内 力世❖
野作 雅章
長谷川 明子
長谷川 大
早坂 克孝
林 秀一
原 公朗
東出 康宏
樋口 巖
日高 里枝
平島 淳嗣
平本 信夫
廣野 貴之
船山 喜美子

た
堀田 康雄
本間 滋
前田 光弘
松田 広昭
松原 愛❖
三浦 浩子
三栖 功
三田 修一
三井 尚美
宮川 秀史
宮澤 篤司❖
宮下 将和
宮森 信之
村上 正秀
森 由美子
森畑 諭布子
安井 正
安井 規雄
柳本 正
山川 智
山口 哲男
山崎 浩之
山崎 正之
山崎 摩耶
山下 由佳
山田 光二
山原 正博
山本 晃史
湯佐 富治
横田 茂
横田 雅史
米陀 徳光
渡辺 韶子

ま

や

わ

【ご来賓】
◆旭川市長……西川 将人様
◆旭川市議会議長……塩尻 伸司様
◆旭川市経済観光部長……佐藤 幸輝様
◆旭川市農政部長……辻野 隆行様
◆旭川市総合政策部次長……大鷹 明様
◆旭川市税務部次長……那須 秀昭様
◆旭川市議会事務局 総務調査課長……樽井 里美様
◆旭川市総合政策部秘書課……須賀 瑛子様
◆旭川観光コンベンション協会副会長……中川 竹志様
◆旭川商工会議所事務局長……川口 勤様
◆あさひかわ農業協同組合 代表理事組合長……白鳥 隆志様
◆米穀農産課調査役……岩崎 康郎様
◆北海道ふるさと会 連合会副会長……高橋 守様
◆北海道東京事務所長……岡田 恭一様
◆サッポロビール㈱営業本部 法人営業部副部長……石井 直己様

【ご協賛・ご協力御礼】（順不同）
旭川市
旭川市議会
旭川商工会議所
一般社団法人旭川観光コンベンション協会
旭川空港ビル㈱
株式会社AIRDO
ハイアットリージェンシー東京
㈱旭川振興公社
㈱旭川物産協会
あさひかわ農業協同組合
㈱ササキ工芸
優佳良織工芸館
男山㈱
サッポロビール㈱
㈱明治
㈱一印旭川魚卸売市場
今野醸造㈱
㈱大金
㈱東京キョクイチ
㈱福居製餡所
㈱藤井
藤原製麺㈱
㈱米谷産業
㈱旭川食品
㈲エチュード洋菓子店
㈱オーシャン
三葉製菓㈱
㈱スノークリスタル北海道
高橋製菓㈱
㈱壺屋総本店
㈱ロバ菓子司

【ご寄付御礼】（敬称略）
朝比奈 康博
阿部 紀彰
荒川 繁
伊塚 清
岩田 公雄
植木 宏昌
海老澤 美智子
岡村 淳子
太田 真樹子
大場 孝仁
恩田 一
加藤 桂子
齋藤 依子
木田 基
澤田 弘明
佐藤 幸博
白戸 研二
高木 宏明
高橋 照美
高橋 文子
武田 彰宏
並河 典子
西谷内 力世
西 俊輔
野田 公朗
原 公朗
水口 國雄
三井 尚美
宮下 英昭
宮場 将和
安井 規雄
山川 智
山原 正博
横田 茂
米陀 徳光

## 東京旭川会の役員構成

（平成27年12月1日現在）

■会長 高橋 照美
■副会長 加藤 桂子
横田 茂
小松 仁志
荒川 繁
■副会長・事務局長 西谷内 力世
■副事務局長 海老澤 美智子
並河 典子
三井 尚美
山原 正博
佐藤 幸博
■事務局 杉本 一美
東出 康宏
山川 智
野作 雅章
伊塚 清
大場 孝仁
奥山 好美
木島 英人
佐藤 みき
澤田 研二
高木 宏明
高島 芳美
宮川 秀史
山口 哲男
山崎 正之
米陀 徳光
安井 規雄
原 公朗
朝比奈 康博
■会計
■幹事
■監事
■名誉顧問
■相談役

## 新規会員を募集中！

お友達、お知り合いで「東京旭川会」に関心のある方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください。会報「ななかまど」と入会のご案内をお送りします。

＊【予告】本年度（平成28年）第40回の総会・懇親会は、10月29日（土）午後5時からの予定です。

## 編集後記

会報「ななかまど」は会のメイン行事である総会・懇親会・懇談会の模様などを公式記録として、会員の皆様に分かりやすくご報告する重要な役割をもっています。また、ホームページに掲載している旭川情報や東京旭川会の活動模様などについてもお伝えします。

今年は広報部会長として会報作成に関わりました。昨年に引き続き朝比奈相談役を中心にチームとして編集に取り組んできました。「ななかまど」が会員の皆様の旭川への愛着を一層深める一助になれば幸です。（小松）

＊＊＊

「書の甲子園」での旭川西高の全国優勝が、毎日新聞ニュースで大きく紹介されて、母校を誇りに思います。西高生が、からだ全体をうごかして書いている姿は、たゆまない日々の練習の成果です。「ななかまど」の若者活躍コーナーで扱えてよかったです。（並河）

＊＊＊

一昨年の総会に初めて参加しました。今回初めて「ななかまど」の編集に関わらせてもらい、とてもいい経験となりました。編集作業を通して郷土への思いが一層強くなりました。誌面からその思いが伝われば幸いです。（高島）

＊＊＊

旭川出身の多くの若者がスポーツ界や文化、芸能の世界で活躍している様子が、多くのメディアに登場しております。その記事や姿を見るたびに力をもらっています。今後ますますの活躍を皆さんと一緒に応援したいですね。（東出）

＊＊＊

私は総会時の「懇談会」の講演会・シンポジウム・対談の企画を6年連続担当させていただき、会報も6冊作成することができました。以前から構想し、やっと実現した「北の富士さんと岩田公雄さんの特別対談」は、とにかく面白く、記事の中に何度も《会場は爆笑》と入れる程で会員の皆様にも楽しんでいただけたのではなかろうかと思います。お二人の対談は「今までの懇談会の集大成！」とも言えるような内容でした。私にとっても集大成となったようです。ありがとうございました。（朝比奈）